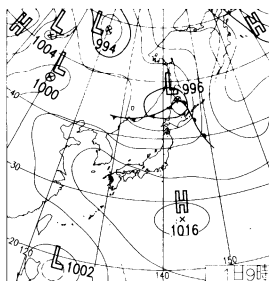


日々の天気図

—No. 7

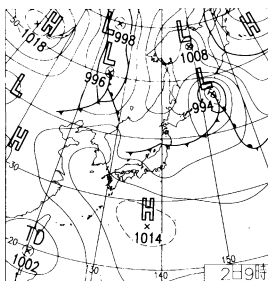
2002年 8月

・ 8月前半は、東北地方に前線が停滞し、北日本はぐずついた天気、東・西日本は太平洋高気圧に覆われ猛暑。
 ・ 台風第13号が本州の南海上を北東進、19日東京都神津島で日降水量367mmなど、東海・関東地方で大雨。
 ・ 台風第15号は奄美大島通過後、東シナ海を北上、30日宮崎県南郷村で日降水量340mmなど九州～四国で大雨。
 (気象庁予報部予報課)



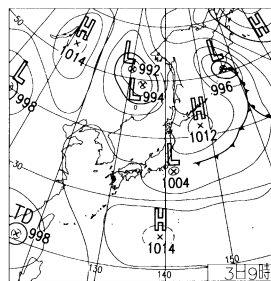
1日(木)光化学スモッグ警報

高気圧に覆われて関東以西はよく晴れ、北日本で真夏日、前橋で38.5℃を記録。千葉県ではオキシダント濃度が240ppbを超えた所があり、今年2回目の光化学スモッグ警報を発表。



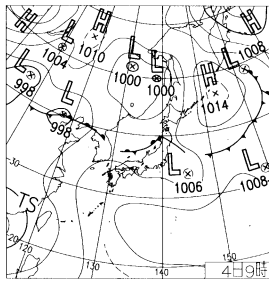
2日(金)関東甲信で激しい雷雨

前線南下と昇温により大気の状態が不安定になり、関東甲信地方で局地的に雷雨。東京都青梅市で16時までの1時間に42mmの激しい雨。南アルプスで落雷により登山者が死亡。



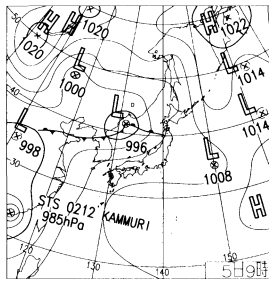
3日(土)関東以西、真夏日続く

太平洋高気圧に覆われ、関東以西は晴れて真夏日続く。東北・北海道は寒気の影響で曇や雨。炎天下ながら、天気相談所は早くも夏休みの宿題調べの親子連れの来訪が目立つ。



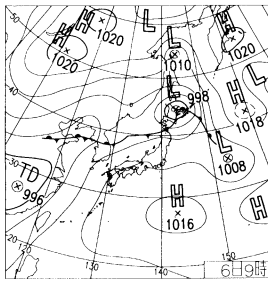
4日(日)東北地方大雨

前線の影響で東北各地は大雨、秋田県岩城町付近で1時間110mmの記録の短時間大雨情報発表。関東も午後から激しい雷雨で、東京世田谷で床上浸水。南シナ海で台風第12号発生。



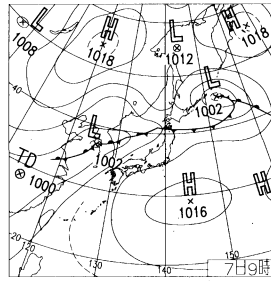
5日(月)西日本暑さ続く

日本海の低気圧から東へ前線が延び、北日本は曇りや雨、北海道南部では1時間50mmを超える大雨。関東以西は太平洋高気圧に覆われよく晴れ、西日本中心の猛暑続く。



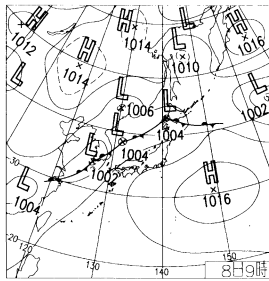
6日(火)今夏全国一の39℃

北日本は前線や低気圧の通過で大雨。一方、高気圧の勢力が強くなり、静岡県佐久間町の39.0℃は、この夏全国で一番の酷暑を記録。東京は35.7℃で光化学スモッグ注意報発表。



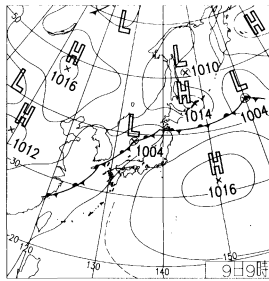
7日(水)厳しい暑さ続く

太平洋高気圧に覆われて前日に続き猛暑となった。岐阜県多治見市では前日の38.8℃に続き、この日も15時に38.0℃に到達、各地で人間の体温を超える高温を記録。



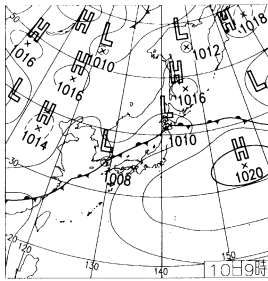
8日(木)猛暑の立秋

太平洋高気圧の勢力が引き続き強く、前線に近い北海道と東北北部を除き晴れて厳しい暑さが続く。埼玉県鳩山町で38.8℃、福島市はこの夏最高の38.2℃。平年値より7～8℃高い。



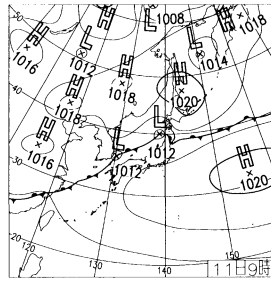
9日(金)北海道ぐずついた天気

津軽海峡に前線が停滞、北海道は雨で、気温も平年より6℃以上低め。その他の地域は晴れて暑さ続くが、西日本を中心に雷雨など不安定な天気。東海地方に高温に関する情報。



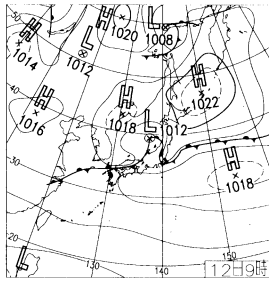
10日(土)北海道、低温長雨続く

前線や低気圧が次々に通過し、東北北部から北海道は長雨と低温。東北南部から西は太平洋高気圧に覆われるが、西日本は湿った空気入り所々雨。日雨量多い所で100mmを越す。



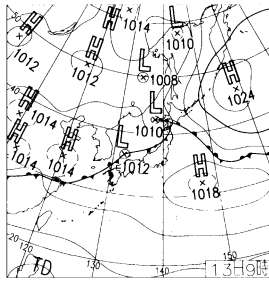
11日(日)高知で局地的大雨

日本付近の気圧配置変わらず、北海道南部から東北北部は終日雨。西日本の不安定による雨もさらに範囲を広げ、高知県土佐清水町では1時間に109mmの豪雨。



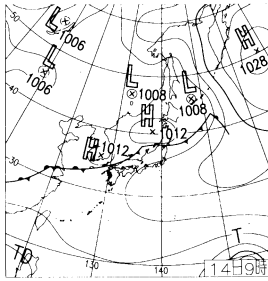
12日(月)東北地方で再び大雨

前線は相変わらず東北地方から山陰沖に延びて東海・沖縄を除き全国的に雲が多く、北陸から北は雨。秋田・岩手の各地で日雨量150mmを超え、床上浸水・道路損壊などの被害発生。



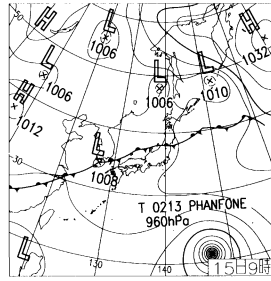
13日(火)前線活動小休止

前線の活動は一時的に弱まったが、北海道を中心に雨が続き、東北以南も日本海側は曇り空。関東以西の太平洋側では晴れて真夏日の連続、最高気温名古屋で36.1℃。



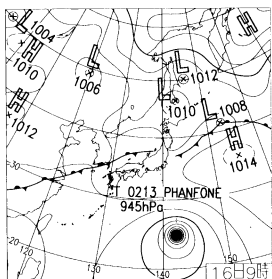
14日(水)ヨーロッパで洪水

前線に近い北陸・東北で非常に激しい雨。福島県白河市で3時間雨量154mm。北日本は低温が続き、日照不足と低温に関する情報を発表。欧州中部は連日の大雨で洪水被害発生。



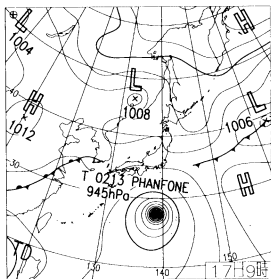
15日(木)関東中心に残暑続く

前線は東北南部から山陰沖に延び、北日本から北陸。山陰は曇りや雨。関東から近畿は所々で35℃を超える残暑だが、内陸部では午後から雷雨。栃木県宇都宮市で2時間で85mm。



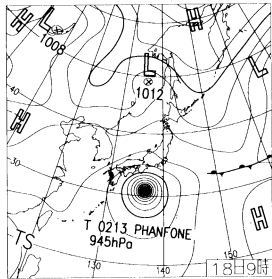
16日(金)台風第13号発達

前線停滞し東北地方を中心に曇り、台風第13号は父島の南西海上ではっきりとした眼をもち940 hPaまで発達。中東欧の洪水で30万人が避難。独ドレスデンでは157年ぶりの大洪水。



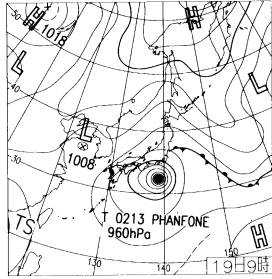
17日(土)台風第13号北西進

強い台風第13号は父島の西海上を北西進。関東以北はオホーツク海方面の高気圧の影響で気温が低く、北海道や東北では9月下旬から10月上旬並の所も、欧州の洪水被害拡大。



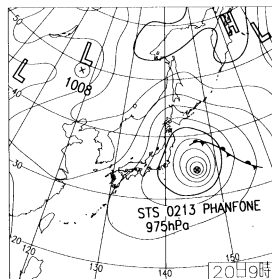
18日(日)台風第13号転向

強い台風第13号は潮岬の南方海上で急角度で転向し北東進。海上は猛烈なだけに、日本付近は気圧の谷で全国的に曇り、関東や近畿地方の一部で雨。南シナ海で台風第14号が発生。



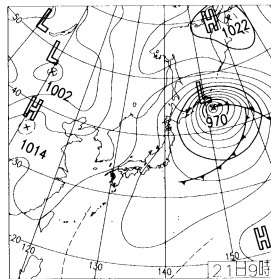
19日(月)伊豆諸島暴風域に

台風第13号は関東の南海上に北東へ進み、伊豆諸島が暴風域に。八丈島で最大瞬間風速32.7 m/s、神津島村で日雨量367 mm。関東地方でも日雨量が多い所で200 mm以上。



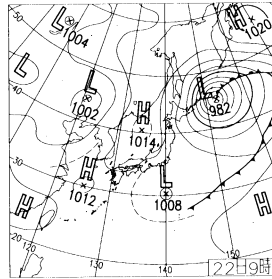
20日(火)台風一過の残暑

台風第13号は関東の東方海上を北東進し、北海道や東北北部、北陸、山陰は荒れた天気。東北南部から九州にかけての太平洋側は台風一過、残暑が戻る。香川県で山林火災発生。



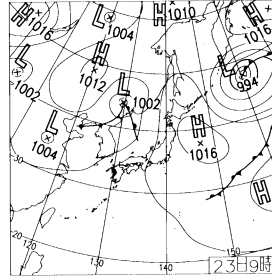
21日(水)東京の最小湿度23%

台風第13号は北海道の東海上で温帯低気圧に変わり、本州上は大陸方面からの乾燥した北西風が吹き渡った。東京の最小湿度は8月の歴代1位タイ記録。朝晩は涼しくさわやか。



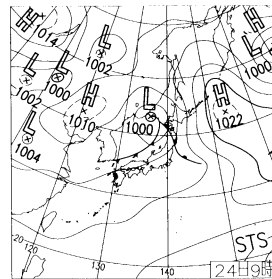
22日(木)気温低め

日本海の高気圧に覆われ、ほぼ全国的に晴天だが、大陸育ちの冷たい空気のため気温は低め。北海道大雪山系で初雪。内陸部の長野県開田村で5.8℃など10月上旬並みの冷え込み。



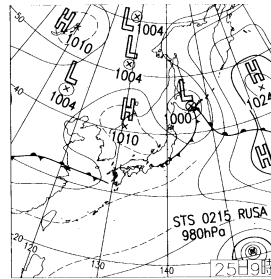
23日(金)台風第15号発生

高気圧は三陸沖に進み、日本付近は気圧の谷に入って天気は下り坂。全国的に曇りや雨のため、気温引き続き低く、9月上・中旬並。ウエーク島近海で台風第15号発生。



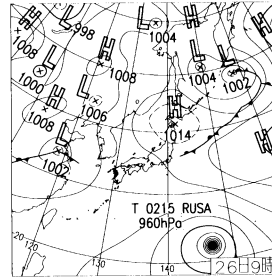
24日(土)日本海に低気圧

北日本に低気圧が近づき、北海道・東北地方は雨や雷雨。前線に近い九州北部で一時的強い雷雨。長崎県野母崎町では日雨量234 mm。関東以西も西日本の一部で晴れた他は曇り空。



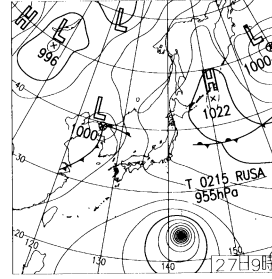
25日(日)関東真夏日戻る

オホーツク海の低気圧から本州南岸沿いに前線が延びるが、北海道や九州を除いて概ね晴れ、東海、近畿は厳しい残暑となる。関東も4日ぶりに真夏日が戻った。



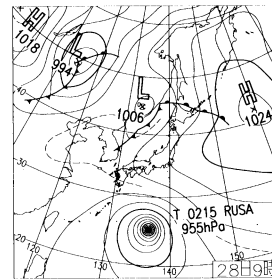
26日(月)近畿、東海に少雨情報

全国的によく晴れたが、関東地方は上空の寒気の影響で夕方から雷雨。西日本は梅雨明け以降雨が少なく、少雨情報第2号発表。大型で強い台風第15号、日本の南海上を西進。



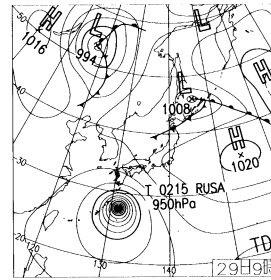
27日(火)台風第15号西進

大型で強い台風第15号は、父島の南海上を西進。北海道は下層雲が多く一部で雨だが、他は高気圧に覆われ晴れて暑かった。米子で35.5℃など近畿、中国を中心に高温を記録。



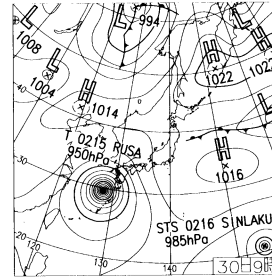
28日(水)紀伊半島で大雨

台風第15号の外側の発達した雲域がかり西日本太平洋側の各地で雨。奈良県上北山村日出岳では1時間に84 mmを観測。関東から東北は晴れ、新潟県長岡市で37℃。



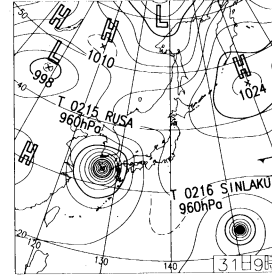
29日(木)奄美大島北部を通過

奄美地方は朝から台風第15号の暴風域に入る。台風は、夜に奄美大島北部を通過し、東シナ海へ進む。名瀬で最大瞬間風速39.4 m/s。九州南部から近畿にかけて太平洋側の大雨続く。



30日(金)台風第15号北上

台風は九州西海上を北上し、西日本太平洋側の大雨続く。関東から近畿にかけて厳しい残暑も続く。太平洋上の日付変更線付近ではハリケーンから変わった台風第17号発生。



31日(土)千葉で二氧化硫黄情報

台風第15号は五島列島を暴風域に巻き込み、朝鮮半島へ北上。九州、四国で大雨続く。関東の沿岸部は南風強く、三宅島の噴煙による二氧化硫黄の影響が広がった。